

浄土宗 慶事法要と祈願

一 慶事法要と祈願の意味

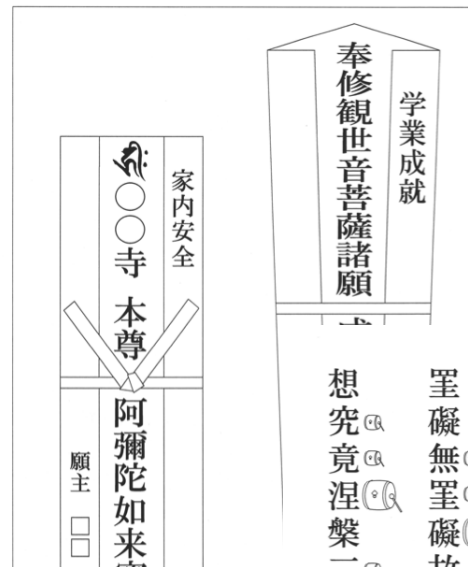
二 慶事法要と祈願の内容

慶事法要・祈願の実際 / 誰にでも打てる慶事法要の太鼓打法 / 人生儀礼とその意味 (胎教・初参り・七五三・成人式・婚約式・仏式結婚・結婚奉告式) / 年中行事 / 写経会 / 写仏会 / 各種供養 / 実例

三 尊像の基礎知識

四 法話例

「慶事法要・祈願の実際」より



■折願札の例(山号・寺号は左右に割書きしてもよい)

「太鼓打法」より

亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸仏依般若波羅蜜多故

み仏によつて、明るい暮らしをさせていただく。
み教えによつて、正しい生活をさせていただく。
そして、皆、和よく信仰の道を通じてゆくことが、三
お二人の新しい家庭も、この三寶に帰依してこそ、明
です。

ただ今から、お二人に、仏教徒として、三寶に帰依することをお誓いいたします。
ご列席の皆さまも、温かい心をもつて、お二人の誓いを見守っていただきますよう、お願いいたしま
す。

補註 一 下
「新郎○○○○さんに伺います。
あなたは今日より、三寶に帰依し、いつまでも新婦を愛み、共に明るく、正しく、和よく生活するこ
とを誓いますか」

「はい」または「はい、誓います」

「新婦○○○○さんに伺います。
あなたは今日より、三寶に帰依し、いつまでも新郎を愛み、共に明るく、正しく、和よく生活するこ
とを誓いますか」

「はい」または「はい、誓います」

「仏式結婚」より

洒水灌頂

「続いて、聖水灌頂をいたします。加持香水をお頭に頂戴す
ていただきます。
どうぞ、合掌し、低頭してお受け下さい」

授与三帰三寶

「こうして身も心も本当に浄らかになったところで、仏法僧
私と一緒に、お唱え下さい」

「自ら仏に帰依し奉る
自ら法に帰依し奉る
自ら僧に帰依し奉る」

「自ら仏に帰依し奉る
自ら法に帰依し奉る
自ら僧に帰依し奉る」

「次に、仏法僧の三寶に帰依しおわり、今日以後、身も心も
いの言葉をお唱えいたします」

「自ら仏に帰依し奉る
自ら法に帰依し奉る
自ら僧に帰依し奉る」

「自ら仏に帰依し奉る
自ら法に帰依し奉る
自ら僧に帰依し奉る」

人身受け難し今既に
生に於て度せずんば
心に三寶に帰依し奉る
自ら仏に帰依し奉る
て、無上意を發さむ
自ら法に帰依し奉る
りて智慧、海の如く
自ら僧に帰依し奉る
て一切無礙ならむ。

【準備】
経・念仏・会は、木魚を用います、制笏にて行った方
がよい。
■衣
色衣・大僧衣・日課敷等。
ただし、祈願を行う場合には通常法要と同じ衣体で行
う。
接待する場合は、道衣を着用し、作務衣・俗服は着用
しない。

「成人式」より

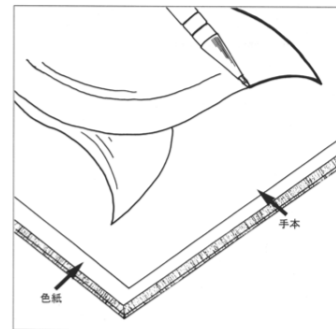
「結婚奉告式」より



「写仏会」より

■色紙に写仏する場合

透かして見ることでできない色紙等に写仏する方法の
一例を次に示しておく。



①色紙の上に下絵を置く。
②鉛筆またはボールペン等で、下絵を強くなぞり、色
紙にへこみがつくようにする。
③下絵を外し、へこみにそって、改めて筆で描く。

